日本LCA学会学生交流ネットワーク 2009年度活動報告

畑山 博樹・菊地 恵美・尾下 優子

ILCAJ-SCN Activity Report 2009

Hiroki HATAYAMA, Emi KIKUCHI and Yuko OSHITA

日本LCA学会学生交流ネットワーク（The Institute of Life Cycle Assessment, Japan, Student Communication Network: ILCAJ-SCN、以下SCN）は、環境問題に対する高い意識を持つ学生が、知識と人脈のネットワークを広げ、高レベルの活動を目指すことを目的に設立された、学生会員によって構成される研究会である。SCNの設立は、2008年に学生会員であった菊池康紀、畑山博樹（東京大学）の両名によって提案され、2009年3月の第1回学生総会をもって活動を開始した。以降、幹事長の畑山博樹（東京大学）および副幹事長の菊池恵美（東京大学）、尾下優子（九州大学）を中心に、学生会員のLCAへの理解を深めるために様々なイベントを開催してきた（図1）。本報では、SCNの2009年度（2009年4月～2010年3月）の活動について報告する。

第1回工場見学会

日 時：2009年9月11日

場 所：味の素株式会社 川崎工場

参加人数：約25名

同工場内における環境への取り組みとして、製造工程や排水処理施設などの見学をおこなった。また、企業によるLCAやカーボンフットプリントの算定結果の活用に関するディスカッションをおこなった。

ワークショップ2009

日 時：2009年9月11 - 13日

場 所：ホテルサンシャイン白子（千葉県長生郡）

参加人数：約25名

合宿形式で、勉強会及び研究発表会をおこなった。勉強会では、4つの研究グループが研究で用いる手法や研究事例についてそれぞれ発表し、互いに基礎的な知識を共有した。研究発表会では、研究成果だけでなく研究予定や進捗報告も含め、15件の発表があった。

第2回学生総会

日 時：2010年3月4日（第5回日本LCA学会研究発表会会期中）

場 所：東京都市大学 横浜キャンパス

参加人数：約20名

2008年夏	学生組織設立に向けて始動
2008年10月	学生部会設立趣意書を理事会に提出 (提案者2名、賛同者9名)
2008年12月	学生部会(仮称)設立が理事会に承認される 設立集会(第8回エコバランス国際会議会期中)
2009年3月	第1回学生総会(第4回日本LCA学会研究発表会会期中)
2009年9月	第1回工場見学会及びワークショップ2009開催
2010年3月	第2回学生総会(第5回日本LCA学会研究発表会会期中) 第1回セミナー開催

SCNへの参加状況(2010年3月現在): 9大学11研究グループ

図1 SCN設立から現在までの流れ

畑山 博樹／東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻／〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

菊池 恵美／東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻／〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

尾下 優子／九州大学大学院経済学府経済システム専攻／〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6丁目19番1号

Hiroki HATAYAMA / Dept. of Materials Engineering, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo / 7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8656

Emi KIKUCHI / Dept. of Chemical System Engineering, School of Engineering, The University of Tokyo / 7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8656

Yuko OSHITA / Faculty of Economics, Kyushu University / 6-19-1, Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka 812-8581

2009年度の活動、収支決算を学生会員に報告した。また、2010年度の活動計画や体制などについて話し合った。

第1回セミナー

日 時：2010年3月6日

場 所：東京都市大学 横浜キャンパス

参加人数：約15名

産業技術総合研究所、国立環境研究所、産業環境管理協会よりそれぞれ1名を講師として招聘し、学生時代にLCAに関する研究をすることの意義や、本研究分野の研究者の生き方などについて議論をおこなった。

その他

第1回工場見学会およびワークショップ2009の様子について、学会誌上にて報告をおこなった¹⁾。また、第5回日本LCA学会研究発表会において、2009年度の活動をポスター発表及びクロージングにて報告した。

2009年度の活動では、ワークショップによって知識のネットワークを構築し、工場見学会とセミナーによって企業、研究者とのネットワークを構築した。今後も学生会員の意見を広く取り入れた活動により知識と人脈のネットワークを強化し、本学会が社会に対して果たすべき役割への学生の積極的な貢献につなげていきたい。

参考文献

- 1) 畑山博樹, 菊地恵美, 尾下優子 (2010) : 日本LCA学会誌, 6(1), 50-53